

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月23日

上場会社名 東京製鐵株式会社
 コード番号 5423 URL <http://www.tokvosteel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 利一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 阪部 英二
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

市場取引所 東

TEL 03-3501-2238

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	241,706	—	48,351	—	49,988	—	29,746	—
20年3月期第3四半期	178,193	14.3	15,324	△48.4	16,717	△46.4	9,821	△47.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	199.67	—
20年3月期第3四半期	63.35	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	325,556	252,537	77.6	1,695.12
20年3月期	308,637	229,037	74.2	1,537.35

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 252,537百万円 20年3月期 229,037百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	276,000	12.7	53,000	248.1	55,000	219.4	32,000	215.7	214.79

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	155,064,249株	20年3月期	155,064,249株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	6,084,816株	20年3月期	6,082,605株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第3四半期	148,980,668株	20年3月期第3四半期	155,043,430株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年10月24日に公表しました業績予想は、本資料において見直ししております。

2. 上記予想の内容は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は主原料である鉄スクラップ価格、鋼材の市況等により大きく変動する可能性があります。なお、上記1に係る業績予想の見直しの内容は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

10月～12月期におきましては、世界経済の急減速のもと、多くの資源価格が一段と下落するなか、当社の主原料である鉄スクラップ価格も想定を下回って推移した結果、期間利益が拡大しました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の資産合計残高は、主として有形固定資産の増加等により、前事業年度末比で16,919百万円増加し、325,556百万円となっております。負債合計残高は、前事業年度末比で6,581百万円減少し、73,018百万円となっております。純資産合計残高は、利益剰余金が増加した結果、前事業年度末比で23,500百万円増加し、252,537百万円となっております。

3. 業績予想に関する定性的情報

1月～3月期は、鉄鋼需要の急激な落ち込みが続くなかで鉄スクラップ価格は弱基調が続くと思われるものの、製品販売不振により上期のピーク時に比べて50%近い減産となってコストを押し上げ、また、製品出荷単価が資源高による高騰以前の前年の水準まで低下するため、利益幅が縮小しますが、平成21年3月期通期の営業利益を530億円、経常利益を550億円と、従来予想に比べて、営業利益で概ね12%増、経常利益で10%増に、それぞれ見直しいたします。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。

また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法については、従来、主として後入先出法による低価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として後入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。また、この変更に伴い、従来、営業外費用に計上しておりましたたな卸資産低価損については、売上原価に計上しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期累計期間の売上総利益及び営業利益が4,084百万円それぞれ減少し、経常利益及び税引前四半期純利益が3,825百万円それぞれ増加しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,154	5,751
受取手形及び売掛金	54,432	43,561
有価証券	94,000	110,500
製品	8,335	3,441
半製品	3,931	1,963
原材料	2,266	1,799
その他	5,822	4,634
貸倒引当金	△54	△43
流動資産合計	171,888	171,608
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	34,303	36,341
土地	33,325	33,325
建設仮勘定	47,638	24,416
その他（純額）	20,039	18,741
有形固定資産合計	135,306	112,824
無形固定資産	2,716	3,003
投資その他の資産	15,645	21,201
固定資産合計	153,667	137,028
資産合計	325,556	308,637

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,563	45,356
未払費用	9,557	9,318
未払法人税等	17,791	1,276
賞与引当金	229	681
その他	4,465	11,873
流動負債合計	64,607	68,507
固定負債		
退職給付引当金	4,613	5,229
役員退職慰労引当金	249	216
その他	3,548	5,647
固定負債合計	8,411	11,092
負債合計	73,018	79,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,894	30,894
資本剰余金	28,844	28,844
利益剰余金	196,780	170,013
自己株式	△6,459	△6,457
株主資本合計	250,059	223,295
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,477	5,741
評価・換算差額等合計	2,477	5,741
純資産合計	252,537	229,037
負債純資産合計	325,556	308,637

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	241,706
売上原価	180,287
売上総利益	61,419
販売費及び一般管理費	13,067
営業利益	48,351
営業外収益	
受取利息	611
受取配当金	825
為替差益	380
その他	378
営業外収益合計	2,196
営業外費用	
支払利息	63
売上割引	439
その他	56
営業外費用合計	558
経常利益	49,988
特別利益	
償却債権取立益	21
特別利益合計	21
特別損失	
固定資産除却損	848
特別損失合計	848
税引前四半期純利益	49,160
法人税、住民税及び事業税	20,383
法人税等調整額	△969
法人税等合計	19,414
四半期純利益	29,746

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項なし。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項なし。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

（要約）前四半期損益計算書

科目	前第3四半期累計期間 (平成19年4月1日から 平成19年12月31日まで)
	金額（百万円）
I 売上高	178,193
II 売上原価	150,232
売上総利益	27,960
III 販売費及び一般管理費	12,635
営業利益	15,324
IV 営業外収益	1,953
V 営業外費用	560
経常利益	16,717
VI 特別利益	216
VII 特別損失	803
税引前四半期純利益	16,129
税金費用	6,307
四半期純利益	9,821

6. その他の情報

(比較生産高)

期別 品目	前第3四半期累計期間 平成19年4月1日から 平成19年12月31日まで	当第3四半期累計期間 平成20年4月1日から 平成20年12月31日まで
	千トン	千トン
鋼片	2,606	2,572
鋼材	2,431	2,356

(比較販売高)

期別 品種	前第3四半期累計期間 平成19年4月1日から 平成19年12月31日まで			当第3四半期累計期間 平成20年4月1日から 平成20年12月31日まで		
	数量	単価	金額	数量	単価	金額
	千トン	千円	百万円	千トン	千円	百万円
鋼材	2,370	75.0	177,710	2,230	108.2	241,394
(うち輸出)	(484)	(76.5)	(37,096)	(267)	(116.8)	(31,261)
その他	39	12.3	482	34	8.9	312
(うち輸出)	(2)	(64.0)	(128)	(—)	(—)	(—)
合計	2,410	73.9	178,193	2,265	106.6	241,706
(うち輸出)	(486)	(76.5)	(37,225)	(267)	(116.8)	(31,261)

(設備投資額等)

期別 項目	前第3四半期累計期間 平成19年4月1日から 平成19年12月31日まで	当第3四半期累計期間 平成20年4月1日から 平成20年12月31日まで
減価償却費	—	72億円
有形固定資産の 設備投資額	—	301億円